

緑丘中学校

学校だより

令和7年度 9月号

〒927-1213

珠洲市野々江町6の部1番地

Tel 82-0250 Fax 82-3199



## 「チャレンジしたことを生かす2学期に」

校長 小島 康志

今年も大変暑い夏休みでした。また、大雨が降り、不安な数日を過ごしたこともありました。生徒の皆さんは、大きく体調を崩すこともなく、わくワーク体験、サイエンスチャレンジ、部活動、補充学習や宿題に頑張る姿があり、頼もしく感じました。

8月の7日、8日、福井県で北信越大会が開催され、緑丘中学校からは、相撲部、陸上競技部が出場しました。陸上競技部では、女子共通四種競技と女子共通砲丸投げで2位、相撲個人中量級で5位と、大いに頑張ってくれました。能登地区大会から県大会を経験し、北信越大会へ至るまで、他校の生徒と競い合う中で、いろんな経験をしたことと思います。常々、自己を成長させるためには、様々な体験を通じて多様な人と関わるのが重要であると思っています。人と関わることで、物事の見方や考え方が広がったり、情報の幅が広がったり、時にはチャンスに出会えたりします。また、気づかなかった自分の良いところを認めてもらえたり、逆に自分の課題が明らかになったりすることもあります。そして、それら一つ一つに真摯に向き合うことで、人生を豊かに生きる知恵を得ることができないのではないかと思います。夏休み中の様々な活動や体験、家族と過ごした時間、地域の方たちと協力したイベント、仲間と頑張った時間は、必ず自己の成長の糧となってくれます。

2年生は夏休み中の7月29日～31日の3日間、職場体験学習を行いました。3日間の職場体験では事業所の方々から、挨拶の大切さはもちろん正しい言葉使いや返事、そして迅速な対応や行動など、たくさんのご指導いただきました。学校や家庭とは違い、「社会」の仕組みの中に勤労者として直接身を置くことで、これまでの自分の行動を振り返るとともに、「働くこと」の厳しさ、尊さ、価値、意義深さの一端も体験を通して学ぶことができたと思います。地域の方々積極的に生徒に関わっていただき、指導・助言をいただけることはとても貴重なことであり、地域の子どもたちを共に育てていくという思いを感じました。温かくご指導いただいた地元事業所の皆様に深く感謝申し上げます。そして、2年生には体験を通して学んだこと、実感したことを、これから始まる2学期に大いに役立ててほしいと思います。

2学期は、学校生活の中で一番長い学期です。そして体育祭や文化祭など様々な行事があり一年のうちで最も学校が活気づくときであり、生徒たちにとって様々な体験などを通して一番成長する学期でもあります。20日(土)には体育祭が行われます。この体育祭に向けて、結団式や団旗づくりなど生徒たちは積極的に活動しています。これらの行事等を通して生徒が主体的に取り組むことで、自発性や自主性、自律性が育まれ、生徒はさらにたくましく、大きく成長していくものと思います。今後もあらゆる場において、自分で考え、判断し、責任ある行動をとることを大切にし、生徒が主体的に学びに向かう力、主体的に諸活動に取り組む力を高められるように努めていきます。保護者・地域の皆様におかれましても、これまでに引き続き、ご協力・ご理解をよろしくお願いいたします。

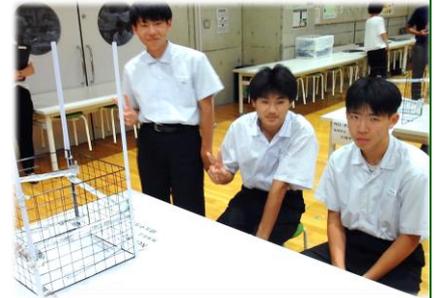
## ◇わく・ワーク体験（2年生）

7月29日（火）～31日（木）の3日間、わく・ワーク体験（職場体験）を行いました。昨年よりも2か所増えた市内21の事業所に分かれ、初めての経験に戸惑いながらもそれぞれの職場で貴重な体験をさせていただきました。この体験で、働くことの厳しさを知るとともに、達成感や充実感を得ることができました。震災からの復興の途上である状況にもかかわらず、この事業の趣旨をご理解いただき、快く受け入れていただき各事業所の方々、そして保護者の皆様、生徒達の活動をご支援いただきありがとうございました。なお今後、事業所の方を対象に「わく・ワーク体験発表会」を実施する予定ですのでぜひお越しいただければと思います。



## ◇サイエンスチャレンジ

8月4日（月）に今年度のサイエンスチャレンジが中能登中学校で行われ、本校の2年生3名（貞 隆大さん、西 琥太郎さん、前根 佑斗さん）が参加しました。昨年度からお題が当日発表となったため、簡単な練習のみでの参加となりました。今年のお題は「自分たちで作ったコースに小球を転がし、床につくまでのタイムを競う」というものでした。3人は知恵を絞って、工夫しながらコースを作成しました。残念ながら入賞はできませんでしたが、自分たちで試行錯誤して作り上げた体験を今後の学習にもつなげていってほしいです



## ◇ 珠洲市親子議会

8月8日（金）に珠洲市親子議会が市庁舎5階で行われました。本校からは、3年生の川坂南葵さん、寺田 昂太さんの2人が参加しました。川坂さんは「防災公園に関する質問と要望」、寺田さんは「ARスポットの活用に関する提案」というテーマで泉谷市長に自分たちが考えたアイデアを提案することができました。それぞれ次の災害に備えた防災機能を持った町づくりに関する提案内容になっています。2人の提案が未来の珠洲市に貢献していくことを願っています。



## ◇舞子高校との交流会

8月20日（水）に兵庫県立舞子高等学校の生徒達と2年生が交流授業を行いました。また交流授業には、三崎中学校の生徒や八尾市河内太鼓の子ども達も参加しました。各校で実施してきた防災の取組を発表したあとで、班に分かれて、防災や地域とのつながりについてグループ協議を行いました。未来の社会を創るのは、今の中学生や高校生たちになります。そのため将来自分たちが住む所が安心・安全な場所になるように防災について考えることは、とても大切なことだと思います。今回このような機会をいただいた舞子高校の先生方をはじめ、八尾ロータリークラブ様や八尾市教育委員会の方々には心より御礼申し上げます。





## － 「学ぶということ」 －

4月から、ゆっくり全員面談を実施しています。被災の体験がどのようなものとして、一人一人のころのなかにとらえられているのか、どのような心配や不安があるのかなどなど聞いています。まだまだ心配や不安のある人もいますが、多くの生徒さんたちの返答では、災害の体験は、それなりに落ち着いてきているようで安心しています。そして、生徒さんたちの最近のストレス要因を聞いていくと、「勉強」と答える人がいました。ただ、どんな教科もストレスになっているというのではなく、苦手な教科、好きな教科の両方を返答してくれて、それぞれが自分なりに、苦手な教科にも向き合っている感じがいいなあと思っています。

好きな教科について話すときの様子を見てみると、とりかかりやすかったり、わかりやすかったり、おもしろかったり、好奇心が満たされるようなものなのだなあと伝わってきます。こうしたことを手がかりに、どんどん知識を拡げて、深めていってほしいと感じています。

ところで、みなさんにとって、「学ぶ」とはどんな意味をもっているのでしょうか。広辞苑をみると、「①まねてする。ならって行う。②教えを受けて身に付ける。習得する。③学問をする。勉強する。④経験を通して身に付ける。わかる。」とあります。学校では、授業を通して③を主に経験していると思いますが、それが①などを通して、なるほど～とつながってくると、②④となって、学んだことが、からだにしみて、知恵となってくるのではないかと思っています。さまざまな授業や校内活動をとおして、そして、部活動や地域での活動を通して、家族との関わりを通して、たくさんの人との関わりの中で、総合的に学んでいくことが、大切になってきます。

実は、私自身、東京でカウンセラーの仕事(面接)をしていたときに、東日本大震災が起こり大きな揺れ(震度5強)を経験しました。揺れが長く続き、面接室から相談に来ていた人と一緒に玄関先に出ると、電信柱が大きく揺れていて、もう自分の人生が終わるのかもしれないと思って、からだが目まいしました。その後、大都市では近所の人とも知り合いではなく、助け合うことが難しく、避難所もいっぱいになりそうだとも思って、京都に引っ越しました。案の定、引っ越し後は、隣人と連絡を取り合い、何かあるたびに、助け合ってきました。また、防災関係のセミナーや研修に積極的に出かけるようにしました。地域によっては、定期的に避難訓練を行い、その後、ミニレクチャーをひらいて、いざというときに備えて、学び合っていました。地震の周期や、災害後に想定される避難所の様子について学んだり、備蓄米の配布や、簡易トイレのつかい方講習などもあって、勉強になりました。また、RSY(レスキューストックヤード)さん(2023年には珠洲で支援に入ってくださいました)というNPO団体が実施している足湯の様子(被災した人がリラックスすることができて、ほっこりしながら話もできる)、鳥取県智頭町で実施している疎開保険というユニークなシステム(災害後、1週間ほど3食付きで7日間滞在できるシステム、災害がない場合は、町のおいしいお米や野菜が届く)について学ぶことができました。災害の経験は恐ろしく、不安も心配も尽きないですが、落ち着いているときに、気になることや、大切だと思うことを学んでおくことが大事だと思いました。衝撃的なことを経験したり、悩みがでてきたとき、そうだ、こういうことを学んだことがあったな…と、ドラえもののポケットから何かでてくるように、からだ、こころ、あたまから、なにか出てくるものがあると理想的です。



災害は思わぬ時にやってきますし、日常生活だけでなく、個々の人生までもが、大きく揺さぶられます。そして、災害だけではなく、生きていく中では、たくさんの困難に出会います。生徒さんたちには、自分の関心あることや興味あることを大切にしっかりと学び、自分の芯をしっかりとってほしい。ほどよく人に頼ったり、ささえあったりしながら、地に足を付けて、たくましく生きていってほしいと願っています。さあ、2学期がはじまります。学びの多い季節、その体験が経験としてからだに沁みていくように、カウンセラーの立場から、応援していきたいと思っています。

(本校スクールカウンセラー 柗蔵 美智子先生 より)

### 第2回学校運営協議会

8月22日(金)に第2回の学校運営協議会が行われました。協議内容は、学校評価および学校が地域とつながるための生徒会からの提案についてでした。生徒会の提案内容は、体育祭の種目にたくさんの地域の方々に参加していただき、一緒に競技を通してつながりを深めていきたいというものになります。今後、生徒会からポスターで各地域にお知らせする予定です。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

### ☆北信越大会成績☆

#### ◇相撲部

個人 中量級 5位 石田 澄海

#### ◇陸上競技部

女子共通 四種競技 2位 小町 一嘉

女子共通 砲丸投げ 2位 三澤 琴葉



### ☆各種大会成績☆

#### 〈石川県吹奏楽コンクール〉

すず吹奏楽団 junior 銅賞



#### 〈石川県中学校選抜混成競技大会〉

女子共通 四種競技 1位 小町 一嘉

### ☆奥能登新人大会の日程☆

○野球大会(珠洲市営野球場)

9月6日(土) 予備7日(日)

○バスケットボール大会(輪島中学校体育館)

9月6日(土)

○ソフトテニス大会(能都健民テニスコート)

9月6日(土) 予備7日(日)

○相撲大会(三崎中学校相撲場)

9月6日(土)

### ☆緑丘中学校体育祭☆

期日 9月20日(土)

【予備日23日(火)】

開始時刻 9:00



※保護者・地域の方が参加できる競技もあります。  
 たくさんの方のご来校をお待ちしています。  
 ※保護者・地域の方用のテントを準備します。

## 9月の行事予定



月	日	曜	行事
	1	月	始業式 登校指導
	2	火	専門委員会
	3	水	
	4	木	生徒集会 後期生徒会役員選挙公示
	5	金	
	6	土	奥能登中学校新人体育大会(野球:珠洲、テニス:能都町、相撲:三崎中 バスケット:輪島中)
	7	日	奥能登中学校新人体育大会(野球:珠洲、テニス予備)
	8	月	グッドマナーキャンペーン(16日まで)
	9	火	
	10	水	校内研修会 被災者の運動・スポーツ習慣化促進事業
	11	木	
	12	金	
	13	土	奥能登中学校新人体育大会(野球予備)
	14	日	
	15	祝	
9	16	火	登校指導
	17	水	体育祭予行
	18	木	
	19	金	
	20	土	体育祭
	21	日	
	22	月	
	23	祝	体育祭予備日
	24	水	専門委員会
	25	木	職員会議 後期生徒会役員選挙
	26	金	振替休業日
	27	土	全能登新人バスケットボール輪島大会
	28	日	復興コンサート(ラポルト珠洲:吹奏楽部) 全能登新人バスケットボール輪島大会
	29	月	後期委員会組織決め
	30	火	

